

パネルディスカッション

「“ちがい”を“パワー”に変えるには？」

ー多様な背景を持つ人々が自己実現を目指せる地域社会に必要なことー

【パネリスト紹介】

●宮澤正咲(みやざわ・まさき) 富山大学医学部 学生

学内サークル、富山大学国際医療研究会(KIK)に所属し、「ムスリム女性のための診察ガイドブック」の作成にかかわるなど、医療における異文化理解の促進に取り組んでいる。第1回セミナー(市民社会編)登壇者のひとり。

●宮田妙子(みやた・たえこ) NGO ダイバーシティとやま代 代表理事

外国人との共生社会のほか、能登半島地震の復興支援など幅広い分野において DEI(Diversity 多様性, Equity 公平性, Inclusion 包摂性)の推進活動を展開。日本語学校「富山国際学院」の理事長を務め、日本語教師としても活躍。第1回セミナー(市民社会編)を主導。

●Everson Esteques Lemos(エヴェルソン・エステケス・レモス) YKK 株式会社 製造・技術本部

ブラジル出身。富山県国際課の国際交流員(CIR)を経て、現在 YKK 株式会社勤務。同時通訳有資格者として、社内での英語の会議や研修の通訳、ポルトガル語での法廷通訳等にも携わっている。外国ルーツの児童生徒のサポート活動にも献身的に取り組んでいる。

●村尾英彦(むらお・ひでひこ) 株式会社村尾地研 代表取締役

自身の会社で外国人材を雇用する経験から、企業における異文化理解の促進や多文化共生の企業文化醸成に取り組んでいる。「共創の未来とやま」第2回セミナー(企業編)を主導。

●永田マヤラ NPO 法人アレッセ高岡

日本生まれ日本で育ちの日系ブラジル人。アレッセ高岡プロジェクトマネージャーとして第3回セミナー(教育編)を主導。現在は、育児をしながらブラジル人従業員が多く在席する派遣会社に勤務するほか、週に一度、射水市役所の外国人相談員を務める。

●青木由香(あおき・ゆか) NPO 法人アレッセ高岡 理事長

外国ルーツの子どもたちの学習支援や教育に関する情報支援など教育の面から、多様な背景を持つ子ども・若者たちが自己実現できる地域づくりに取り組んでいる。ブラジルにて JICA 日系社会青年海外協力隊(日系日本語学校教師)として活動した経験もあり。

●富田洋行(とみた・ひろゆき) JICA 北陸センター所長

高校教諭を経て、2000年に JICA に入構。海外拠点として、ラオス事務所、バングラデシュ事務所での業務経験があり、帰国後はガバナンス・平和構築部にて課題戦略、JICA グローバル・アジェンダの設定等に取り組む。2023年10月、北陸センター着任。